事業番号１-３

平成29年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	資源化センター管理運営事業	事業開始年度	平成24年度
上位施策事業名	ごみを減らし、リサイクルを進める	担当局・部名	環境部
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市の廃棄物の処理及び清掃に関する条例	担当課･係名	クリーンセンター
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	作成責任者	吉田 幸浩

実施の背景

本市では、平成15年度から循環型社会構築に係る施策を推進するため、資源化物の回収拠点（場所）の設置について検討を行っていた。
そうした中、平成17年度に循環型社会形成推進交付金制度が創設された。
この制度は、循環型社会形成推進事業計画を策定のうえ、廃棄物焼却施設の解体跡地に、廃棄物処理施設を建設すれば、解体に要した費用のうち、3分の1の交付金を受けることができる制度であり、ストックヤードの建設用地確保とクリーンセンター解体の経費負担の課題が同時に解決できると判断された。
平成18年度に循環型社会形成推進事業計画を策定し、平成24年度に可燃ごみとして焼却されていた再生可能な紙類を資源化することに重点を置いた施設として、旧クリーンセンターの跡地に「資源化センター」を設置した。

目　的（何をどうしたいのか）

可燃ごみとして新クリーンセンターで焼却されているごみの内、再生可能な紙類を無料で受入れ資源化することで、ごみ焼却量の減量を図る。

事業概要

対　象（誰・何を対象に）

市民及び事業者

対象者数（全住民に対する割合）	
266,443 人 6,417 社	（　　%　）

実施方法

■直接実施（機密書類の受入れについては、直接実施）
■業務委託 又は □指定管理　（委託先又は指定管理者：公益社団法人加古川市シルバー人材センター）
□補助金〔直接・間接〕（補助先：　　実施主体：　　）
□貸付（貸付先：　　）□その他（　　）

事業内容（手段、手法など）

事業内容（箇条書き）	事業費		活動指標
再資源化できる紙類を無料で受入れ再生業者に売却	2,730	千円	市ホームページへの掲載 施設開設日数
市内から回収された蛍光灯・乾電池を仕分けし搬出（環境第1課所管業務）	2,585	千円	施設開設日数
事業所から発生する機密書類を受入れ、溶解処理工場まで搬入業者に同行のうえ溶解処理を確認（H29年1月から実施）	250	千円	機密書類受入れ実施回数等
太陽光発電システムの余剰電力の売却	80	千円	施設開設日数

関連事業（同一目的事業等）

◎資源ごみ収集事業（環境第１課）・・・・紙類収集（月1回）⇒平成30年1月から月2回とする予定
◎集団回収奨励事業（ごみ減量推進課）・・活動団体に対して集団回収奨励金をkgあたり7円交付

コスト

	29年度（予算）		28年度（決算）		27年度（決算）		26年度（決算）	
事業費合計	5,607	千円	5,265	千円	4,816	千円	4,554	千円

事業費内訳（平成28年度分）

・消耗品費　22千円（事務用品、洗剤、ごみ袋等）
・燃料費　14千円（フォークリフトの燃料（軽油））
・光熱水費　148千円（電気代、水道代）
・修繕料　162千円（フォークリフトの定期点検）
・通信運搬費　45千円（電話料金）
・委託料　4,862千円（施設管理運営、機械警備、消防設備点検）
・使用料及び賃借料　12千円（下水道使用料）　合計 5,265千円

人件費	29年度（予算）				28年度（決算）				27年度（決算）				26年度（決算）			
担当正職員	0.05	人	380	千円	0.05	人	380	千円	0.02	人	152	千円	0.02	人	152	千円
臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
人件費合計	0.05	人	380	千円	0.05	人	380	千円	0.02	人	152	千円	0.02	人	152	千円
総事業費	5,987			千円	5,645			千円	4,968			千円	4,706			千円

財源内訳

	29年度（予算）	28年度（決算）	27年度（決算）	26年度（決算）
国県支出金	千円	千円	千円	千円
国県支出金の内容				
地方債	千円	千円	千円	千円
その他特財	2,920 千円	2,831 千円	2,505 千円	2,375 千円
その他特財の内容	紙類売却代金、太陽光発電余剰電力売電収入【H28実績：紙916千円、売電1,915千円】			
一般財源	3,067 千円	2,814 千円	2,463 千円	2,331 千円
財源合計	5,987 千円	5,645 千円	4,968 千円	4,706 千円

事業番号１-３

平成29年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	資源化センター管理運営事業	事業開始年度	平成24年度

		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	H28年度	H27年度	H26年度
事業実績	活動実績	施設開設日数	日	308	308	308
		市ホームページへの掲載	回	常時	常時	常時
		「事業系ごみの減量とリサイクルハンドブック」を作成し事業者へ配付（環境第１課）	社	6,417	/	/
		上記配付を利用して、機密書類の資源化に係るアンケート調査を実施（クリーンセンター）	社	6,417	/	/
		機密書類資源化事業開始の記事提供 ※商工かこがわ1月号に掲載	回	1		
		機密書類受入れ実施回数（毎月第2水曜日）	回	3/3	/	/
	単位当たりコスト	総事業費　／　対象者数	円	20.6	18.2	17.2

事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	再生可能な紙類を無料で受入れ資源化することで、ごみ焼却量の減量を図ることを目的としているため、施設利用件数、紙類受入量、機密書類受入量を成果目標とした。

		【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	H28年度	H27年度	H26年度
事業成果	成果 （目標達成状況）	施設利用件数	件	960/1,200	732/1,200	554/1,200
		紙類受入量	t	61.6/90	40.6/90	32.2/90
		機密書類受入量（H29年1月～3月の間に3回実施）	t	5.1/9	/	/
		ごみの減量・不用品のリサイクルの推進に関して満足している市民の割合	%	59.5%/58.0%	/	52.9%/58.0%

事業の自己評価	事務事業評価結果	□拡充　■維持　□縮小　□改善　□統合　□廃止　□休止　□完了 機密書類資源化事業については、さらなるＰＲを行い、機密書類受入量の増加を図る必要がある。 紙類の受入れについては、新クリーンセンターに自己搬入されているゴミの中に、資源化できる紙類が含まれており、自己搬入者に対し啓発を強化する必要がある。
	今後の事業の方向性、課題等	平成28年度に実施した機密書類の資源化アンケートは、送付した6,417社の内、713社から回答があった。（回答率11%） 回答のあった713社のうち、回収の頻度が月1回であっても、機密書類資源化事業を利用してみようと考えている事業者が373社あったが、平成29年8月までの利用事業者数は46社にとどまっており、これまで利用のない327社に対して更なるＰＲを行い、機密書類受入量の増加を図っていきたい。 紙類の受入れについては、新クリーンセンターに自己搬入されているごみの中に、資源化できる紙類が現在も多く含まれており、自己搬入者に対し資源化できる紙類を資源化センターに搬入するよう啓発を強化する。 （H28年度搬入量：80,208トン　内自己搬入量：2,917トン） ※平成29年度から取り組んでいる類似事業（ごみ減量推進課） ①事業所ごみ減量啓発訪問事業（約200社訪問予定） ②段ボールなど事業所から発生する資源化可能な古紙についても集団回収奨励金の対象とし、回収を希望する事業所を、地域団体に紹介することにより、ごみ減量の推進を図る。
比較参考値（他自治体での類似事業の例など）		
特記事項		

事業番号１-３

平成29年度

委託・指定管理・補助等　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	加古川市資源化センター管理運営事業	事業開始年度	平成24年度
団体名	公益社団法人加古川市シルバー人材センター		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	高齢者の雇用機会を確保するのに適した業務であるため。 （地方自治法施行令第167条の2第1項第3号による随意契約）		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	配分金支出	4,049 千円
県からの財政支出金	千円	事務費	561 千円
市町村からの財政支出金	4,610 千円		千円
委託料・指定管理料	4,610 千円		千円
補助金	千円		千円
その他	千円		千円
その他　（　　）	千円		千円
総計	4,610 千円	総計	4,610 千円

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

（目的）
　定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供する等、その就業を援助して、生きがいの充実、社会参加の促進を図ることにより、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

（事業）
(1)　高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供
(2)　高年齢者の就業に関する調査及び研究
(3)　高年齢者に対する就業相談の実施
(4)　高年齢者に対する臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものを除く。）の機会の確保及び提供
(5)　高年齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会等の開催
(6)　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

				常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
	千円	役職員	（単位：人）						
市出資金	千円		役員	1	1	12	2	2	1
出資比率	%		職員	7	0	12	2		

団体全体の収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	18,000 千円	事業費	561,662 千円
県からの財政支出金	0 千円	管理費	3,507 千円
市町村からの財政支出金	246,202 千円	人件費	71,684 千円
委託料・指定管理料	198,584 千円	その他　（　　）	千円
補助金	18,000 千円	総計	636,853 千円
その他	29,618 千円		
その他　（受託事業収益、労働者派遣事業収益外）	385,497 千円		
総計	649,699 千円	収支差	12,846 千円

特記事項	負債総額：65,798,787円　　資本総額：148,282,331円 利益剰余金（もしくは欠損金）：82,483,544円
財務諸表URL	

委託先シート				平成29年度
1	委託先	セコム(株)	委託金額	226 千円
	委託内容	資源化センターの機械警備	事業者選定方法	見積合わせによる随意契約
2	委託先	(株)大栄商会	委託金額	26 千円
	委託内容	資源化センターの消防設備の点検、消防署への報告書の作成	事業者選定方法	見積合せによる随意契約
3	委託先	兵紙運輸（株）	委託金額	0 千円
	委託内容	機密書類の収集・運搬 機密書類の溶解処理は、兵紙運輸(株）の親会社である兵庫製紙（株）が処理	事業者選定方法	随意契約
4	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
5	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
6	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
7	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
8	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
9	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
10	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	

施設シート

平成29年度

番号	1-3	名称	加古川市資源化センター	■ 単独館 □ 複合館

所在地		平荘町上原210番地の1				
根拠条例等						
土地情報	所有面積	4,142 ㎡	地目		所管課	クリーンセンター
	借地面積	㎡	借地元		作成責任者	吉田幸浩
	総面積	4,142 ㎡	借地料	千円/年	財産区分	■行政　□普通
建物情報	延べ床面積	598 ㎡	所有区分	■自己所有　□借用	構造	鉄骨・鋼板
	建設・取得	平成24年3月（建設）	設計者		IS値	
	補助金有無	■有　□無			階数	1階
	借用元				借用金額	千円/年
	建設・取得額	83,843　千円	取得経緯			
	地方債残高	■有（残高　44,564,822円）償還（平成38年度まで）　□無				
	改修等	改修時期・内容・金額	□耐震　□大規模改修　□バリアフリー化　□省エネ対応			

基本情報	設置目的	可燃ごみとして新クリーンセンターで焼却されている自己搬入ごみの内、再生可能な紙類を無料で受入れ資源化することで、ごみ焼却量の減量を図る。
	実施事業	・再資源化できる紙類を無料で受入れ再生業者に売却 ・市内から回収された蛍光灯・乾電池を仕分けし搬出(環境第1課) ・事業所から発生する機密書類を受入れ、溶解処理工場まで搬入業者に同行し確認 ・太陽光発電システムの余剰電力の売却
	主な利用者（複数選択可）	■官公庁利用　□主催事業　□登録団体（団体数：　　） ■市内一般企業、団体　□市外一般企業、団体 ■市民　□市外住民　□その他（　　）
	利用の制限	
	開館日数	308 日/年　休館日　日曜日、年末年始
	開館時間	8時00分　～　15時30分
	管理体制	□直接管理　■業務委託　□指定管理　□住民等の自主管理 （委託先又は指定管理者：公益社団法人加古川市シルバー人材センター　）
		委託内容：施設管理運営委託 契約金額：4,610千円 事業者選定方法：地方自治法施行令第167条の2第1項第3号による随意契約

施設の概要										
名称	ストックヤード			名称	作業員控室棟			名称	太陽光発電パネル	
床面積	567 ㎡	部屋数	1	床面積	31 ㎡	部屋数	1	パネル数	228 枚	部屋数 0
名称				名称				名称		
床面積	㎡	部屋数		床面積	㎡	部屋数		床面積	㎡	部屋数
名称				名称				名称		
床面積	㎡	部屋数		床面積	㎡	部屋数		床面積	㎡	部屋数
名称				名称				名称		
床面積	㎡	部屋数		床面積	㎡	部屋数		床面積	㎡	部屋数

ハード（施設維持管理）ソフト（実施事業）にかかる人員	正規職員	嘱託職員等	委託業者	指定管理者	住民等の自主管理	その他	合計
ハード	人	人	2.0 人	人	人	人	2.0 人
ソフト	0.05 人	人	人	人	人	人	0.05 人
合計	0.05 人	0.0 人	2.0 人	0.0 人	0.0 人	0.0 人	2.05 人

施設シート

平成29年度

維持管理費			29年度（予算）	28年度（決算見込）	27年度（決算）	26年度（決算）
総支出			5,098 千円	5,085 千円	5,084 千円	5,086 千円
財源内訳	収入	収入合計	1,800 千円	1,915 千円	1,924 千円	1,924 千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円
		国県補助金	千円	千円	千円	千円
		その他（売電）	1,800 千円	1,915 千円	1,924 千円	1,924 千円
	一般財源		3,298 千円	3,170 千円	3,160 千円	3,162 千円

支出内訳（平成28年度分）

委託料：　252千円
修繕料：　162千円
（修繕内容：フォークリフト点検）

指定管理料のうち管理委託分：　千円
減価償却費：　千円
地方債の元利償還：　4,671千円
その他（　　）　千円

利用状況 各部屋別稼働率							
名称			平日	%	土日祝	%	
午前	%	午後	%	夜間	%	合計	%
名称			平日	%	土日祝	%	
午前	%	午後	%	夜間	%	合計	%
名称			平日	%	土日祝	%	
午前	%	午後	%	夜間	%	合計	%
名称			平日	%	土日祝	%	
午前	%	午後	%	夜間	%	合計	%

自己評価・特記事項等	

加古川市資源化センター

資源化センター全景

太陽光発電システム

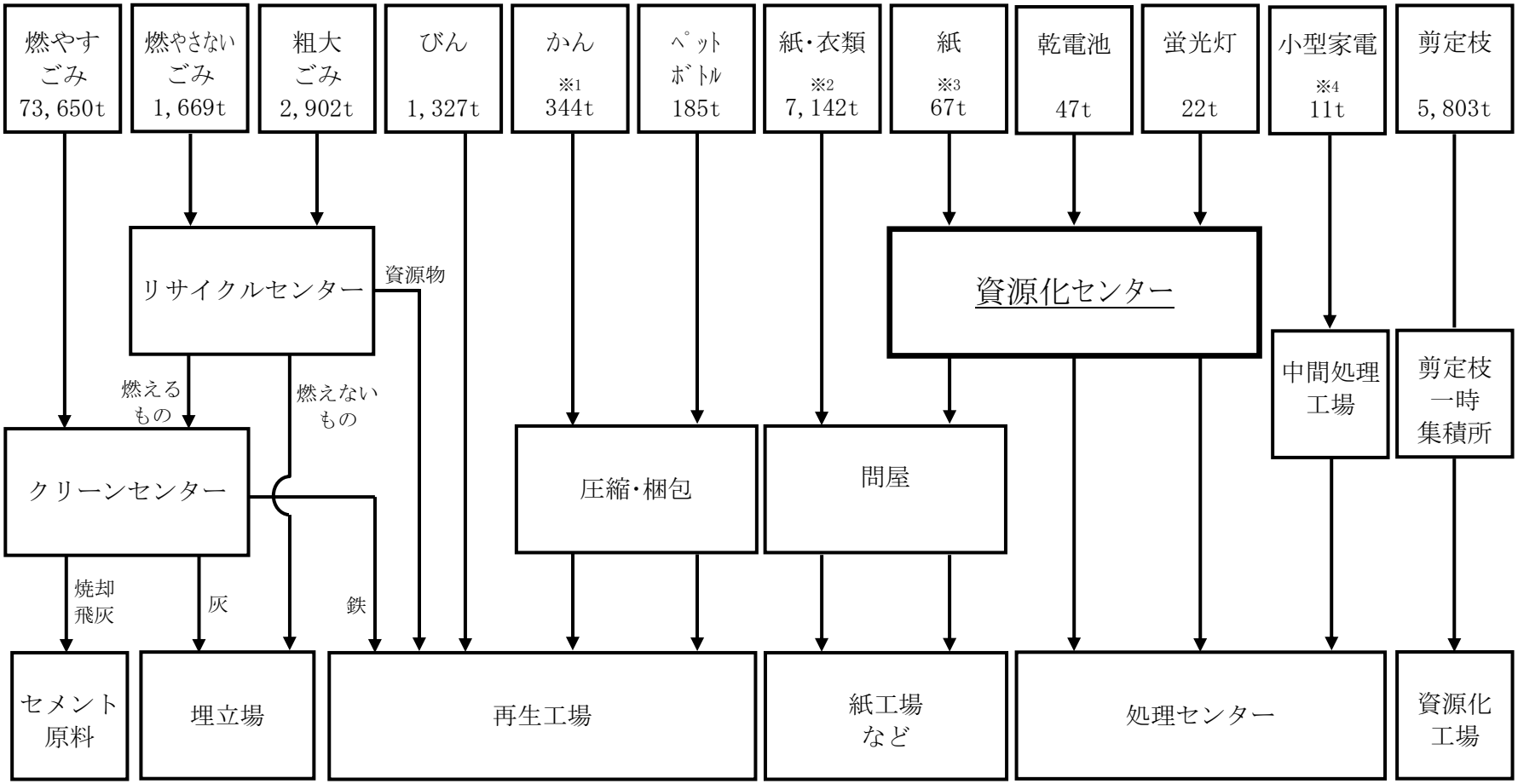
紙類受入れ状況

蛍光灯、乾電池
回収ボックス

	分別された蛍光灯
	機密書類積込作業中
	溶解処理工場へ出発 市職員同行

ごみ・資源物の流れ

【平成 28 年度実績】　ごみ・資源物総排出量：93,169t（家庭系：60,934ｔ、事業系：32,235ｔ）



※1　かん 344ｔには集団回収による 105ｔを含みます。

※2　紙・衣類 7,142ｔには集団回収による 5,420ｔを含みます。

※3　紙 67ｔは資源化センターに自己搬入されたもので機密文書資源化事業による 5ｔ及び資源回収ボックスに投入された 14ｔを含みます。

※4　小型家電 11ｔには宅配便によるパソコン等の回収 2ｔを含みます。